

リピーター増の有機 JAS 認証トマト

飯田農園（名古屋市）

事業者概要

- 所在地：名古屋市中区助光3丁目404
- 代表者：飯田 実
- 設立年：平成22年2月
- 雇用者数：臨時雇用2名



取組概要

- 【生産（1次）】 有機 JAS 認証取得 miu トマト
- 【加工（2次）】 ドライトマト、冷凍トマト、トマトジュース、トマトビネガー、トマトシードオイル
- 【販売（3次）】 直売所、自販機、デパート販売、スポット販売、収穫体験

取組までの経緯

直売や自動販売機の設置、スポット販売の効果があり売上は伸びているが、生産が追い付かなくなっている。有機 JAS 認証の条件に合う肥料は種類が少なく価格も高いためコストがかかる。コストを抑えることはできないので付加価値を上げたい。

取組の特徴、強み

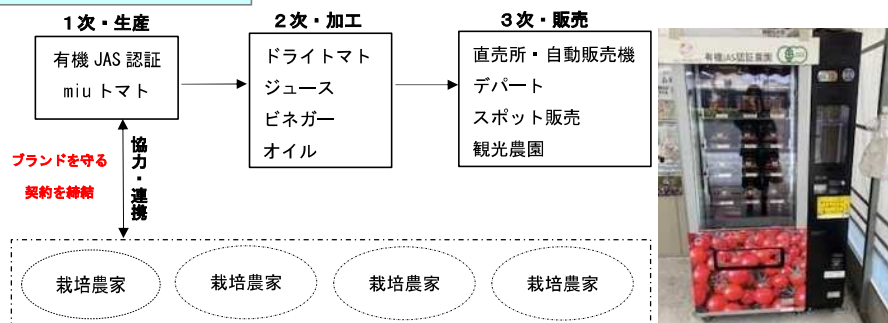
有機 JAS 認証が目立っている。

ブランド化の成功。

トマト狩りは、1時間かけて大切に育てることを伝えながら採る練習をすることで、樹木が傷んでしまうリスクを軽減できる。

自動販売機の設置で、直売所の営業時間外でも購入することができる。

ビジネスモデル・連携図



取組の課題

減産期や害虫の発生等で収穫量が変動した場合の生産量の対策。
広告宣伝費を抑えながら PR したい。

課題解決の方法

市街化区域で農地の面積を増やすことができないため、他の地域で生産する。
miu トマトを栽培する生産者を増やす。
SNS 発信やテレビ・ラジオ等に出演し、商品を PR する。

取組の効果

有機 JAS 認証に注目しているデパートのバイヤーの目に留まり、スポット販売から食品売り場に納品できるようになった。
関東への出荷量が70%。
リピーターの増加。
予想以上にテレビ出演やSNS発信の効果があり、集客に影響することがわかった。

今後の展望

2次加工は、衛生面を考慮し外注で生産しているので、今後も外注を継続する。
自社加工は考えていない。
miu トマトを栽培する生産者を増やすにあたり、ブランドを守るための契約書類作成を検討している。

取組者のコメント

6次産業化は直販ですので必要だと考えます。
出荷できない商品を加工して商品化、トマト狩りなどでファンづくりすることで経営の安定化につながるからです。
また、消費者層を考え、販売先を決めています。

活用した支援策

新規定着促進事業
総合化事業計画

